日本の失われた30年間で
インドネシアはどう変わったか

自己紹介

1975/4～1981/6　ヤマハ㈱入社　インドネシア工場立上支援部門配属

1981/6～1987/3　インドネシア工場生産課長　電子鍵盤楽器の組立生産

1987/3～1995/7　インドネシア工場長　電子楽器、ピアノ、ギターの輸出拠点化

1995/7～2005/3　帰国、インドネシアを普及品の生産拠点化するプロジェクト

2005/3～現在　ヤマハ退職、インドネシア進出サポートコンサルタントとして独立

インドネシア語翻訳・通訳

静岡大学客員教授、専修大学客員講師

独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)専門家

独立行政法人 中小企業基盤整備機構アドバイザー

一般社団法人海外事業支援センター(OBAC)アドバイザー

一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）講師

一般社団法人日本インドネシアビジネス協会(ABJI)理事

などを経歴し、これまでのインドネシア進出支援企業数は約100社

インドネシアとの関わりも48年になりました

セミナー要旨

- 1990年以降の日本は、失われた30年間と言われ、経済などあらゆる分野で成長が止まり、人口も減少する傾向にあります。

- しかし、インドネシアはこの間も高度成長を続けており、独立100周年の2045年には、世界第四位の経済大国を目標に掲げています。

- このセミナーでは、1990年以降の30年間に、インドネシアはどのように変わって来たのかを、経済、社会、政治の、それぞれ10の分野で検証してみます。

目次

I. 経済

1. 国内総生産
2. 一人当りGDP
3. 一人当り消費カロリー
4. インフレ率
5. 対ドル為替
6. 短期金利
7. 輸出入総額
8. 対内直接投資残高
9. 外貨準備高
10. 外国人観光客

II. 社会

1. 総人口
2. 労働人口
3. 高齢者人口
4. 失業率
5. 最低賃金
6. 貧困率
7. 就学率
8. 犯罪件数
9. 大気汚染ランキング
10. 高速道路延伸距離

III. 政治

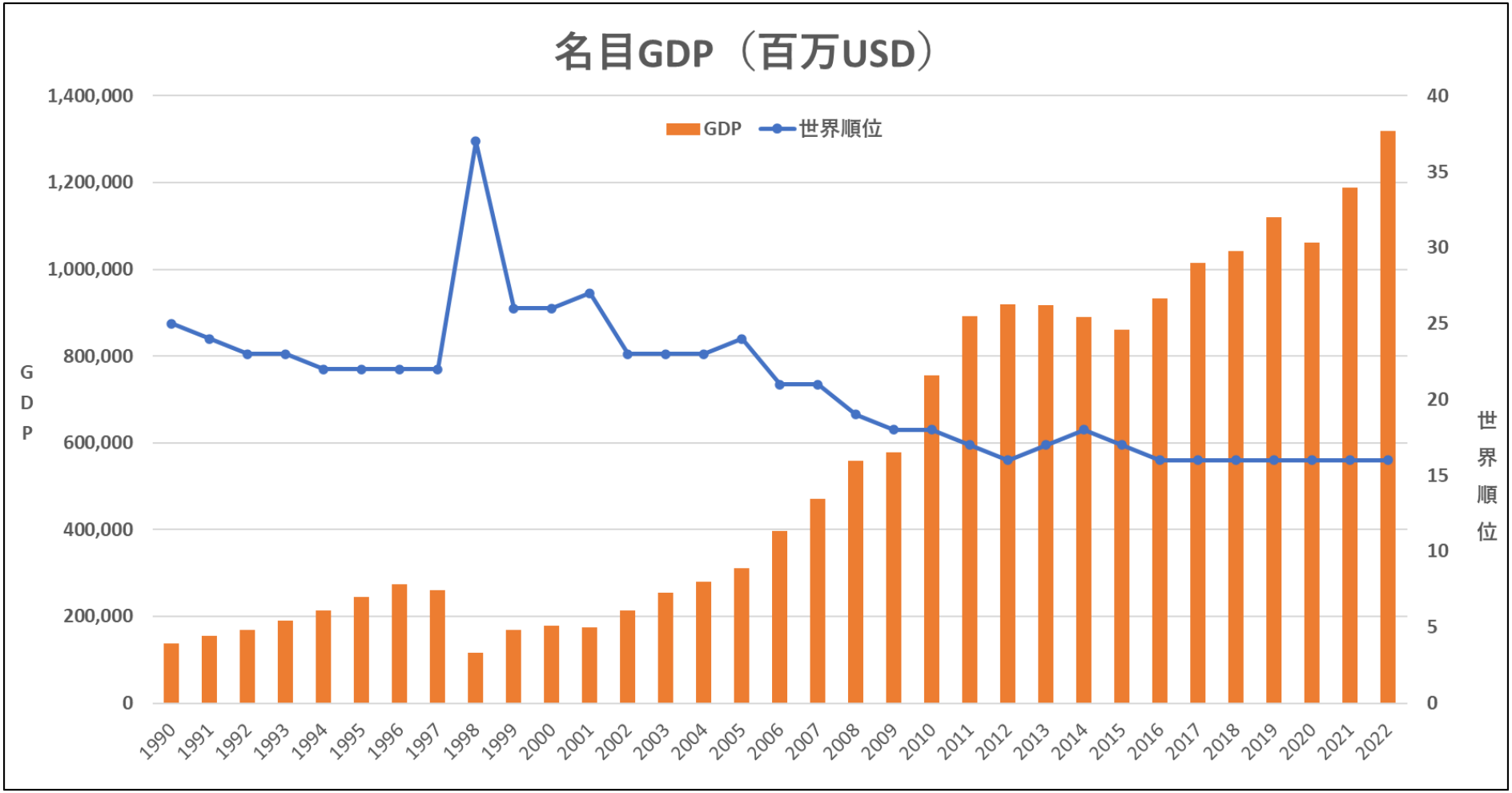
1. 国家予算
2. 軍事力
3. 汚職ランキング
4. 政党別国会議員数
5. 徴税率
6. 政権交代
7. 政治体制
8. 国際機関
9. 国際行事
10. 日本援助事業

1. 国内総生産
2. 一人当りGDP
3. 一人当り消費カロリー
4. インフレ率
5. 対ドル為替
6. 短期金利
7. 輸出入総額
8. 対内直接投資残高
9. 外貨準備高
10. 外国人観光客

I. 経済

1. 国内総生産

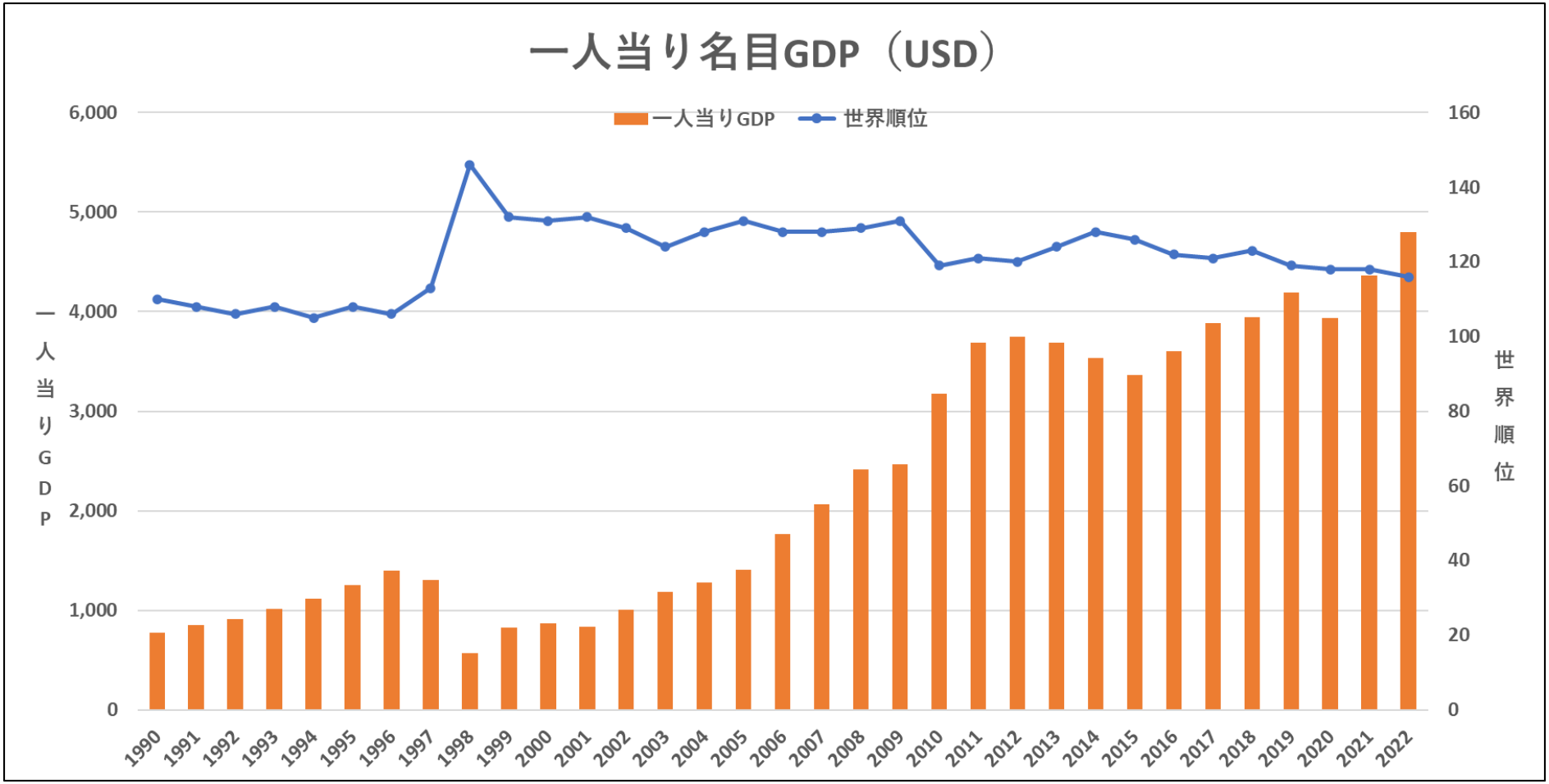
1. 名目GDPは、USD138,258百万から、USD1,318,806百万に、約10倍に伸びている。
2. 世界順位は、25位から16位に上昇している。



出展：GLOBAL NOTE

2. 一人当りGDP

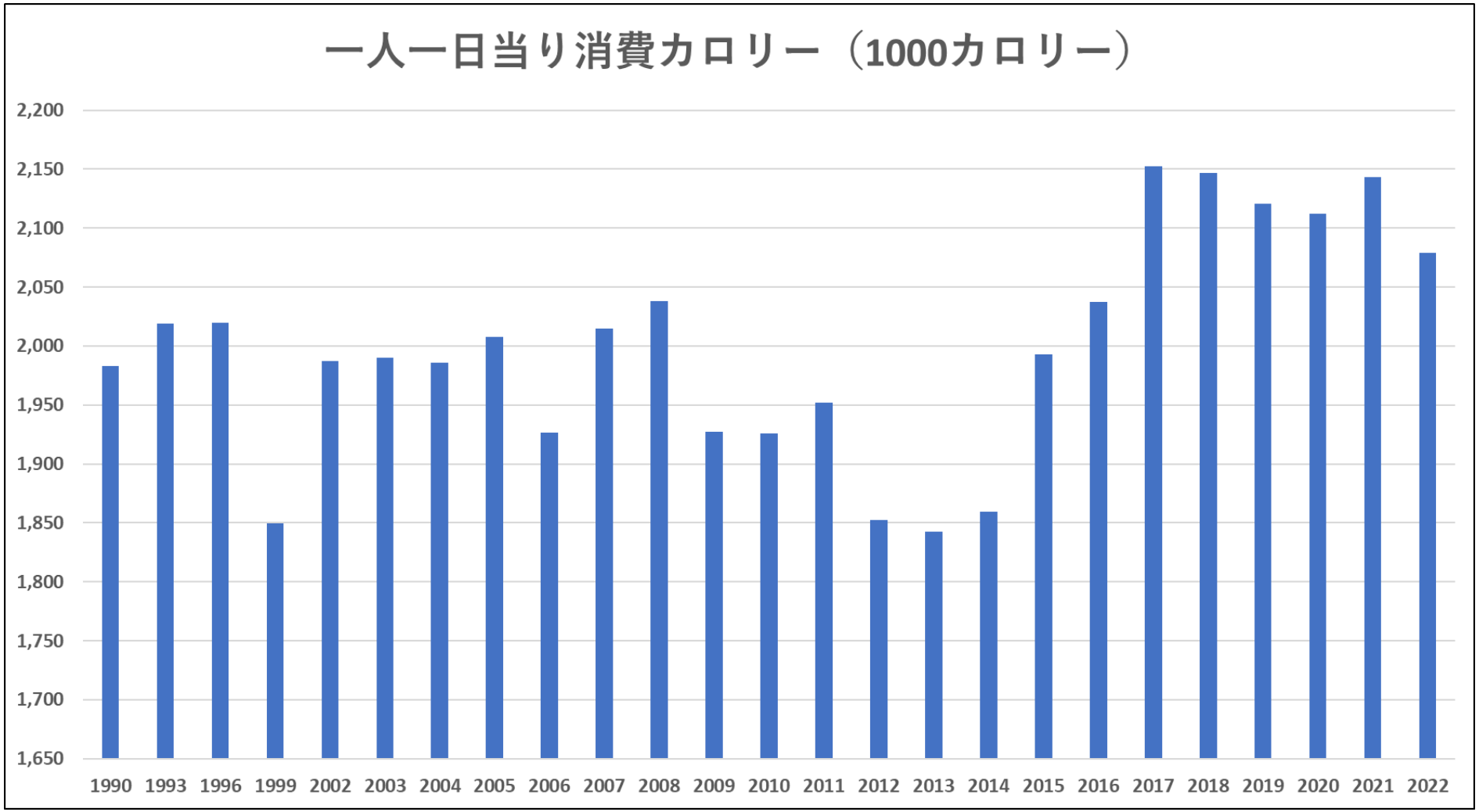
1. 名目GDPは、USD771から、USD4,798百万に、約6倍に伸びている。
2. 世界順位は、110位から116位に低下している。
3. 低下した最大の理由は人口増と思われる。



出展：GLOBAL NOTE

3. 一人当り消費カロリー

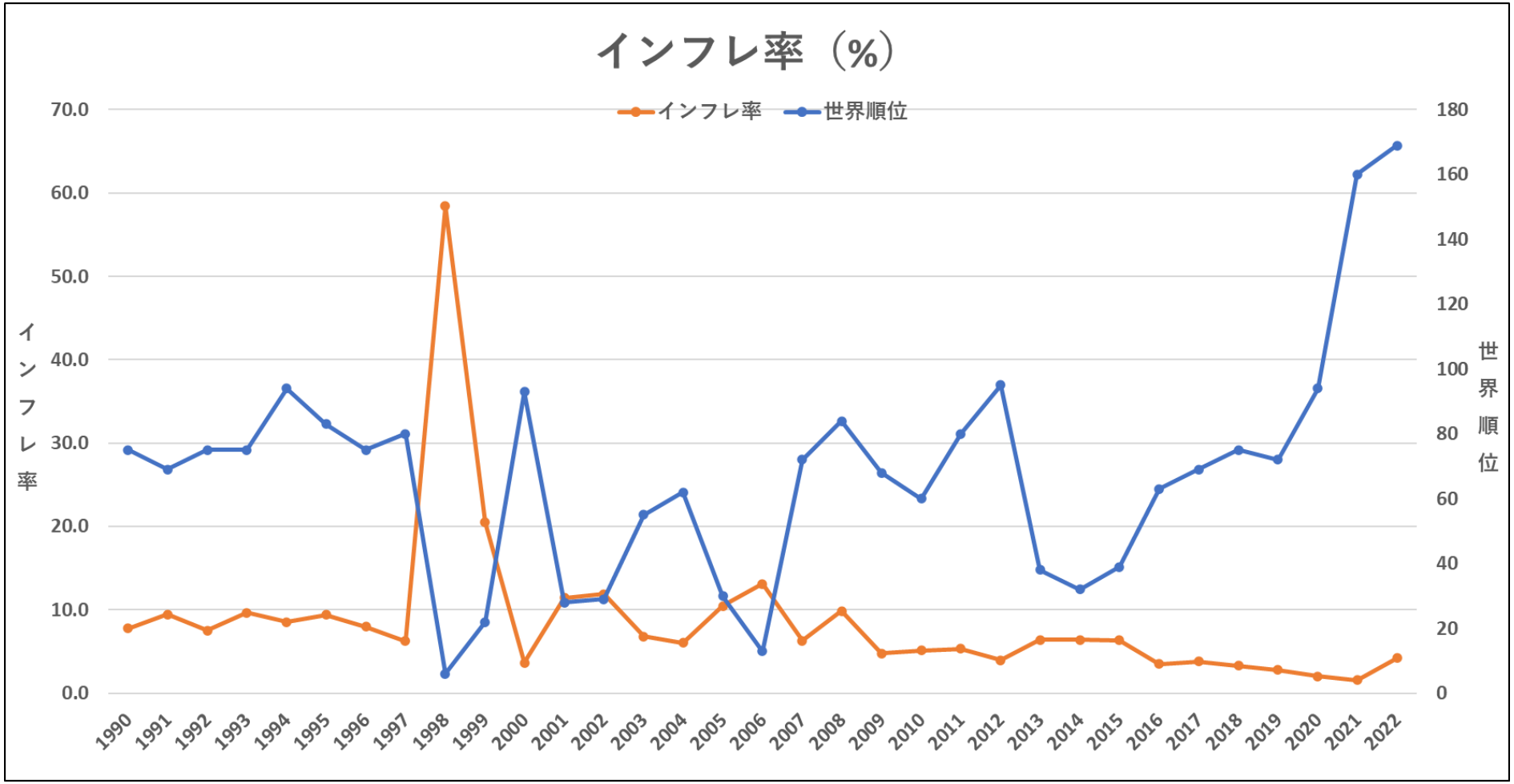
1. 30年間でほぼ5%増加している。
2. 30年間での最大値と最小値の差は14%である。



出展：インドネシア統計センター

4. インフレ率

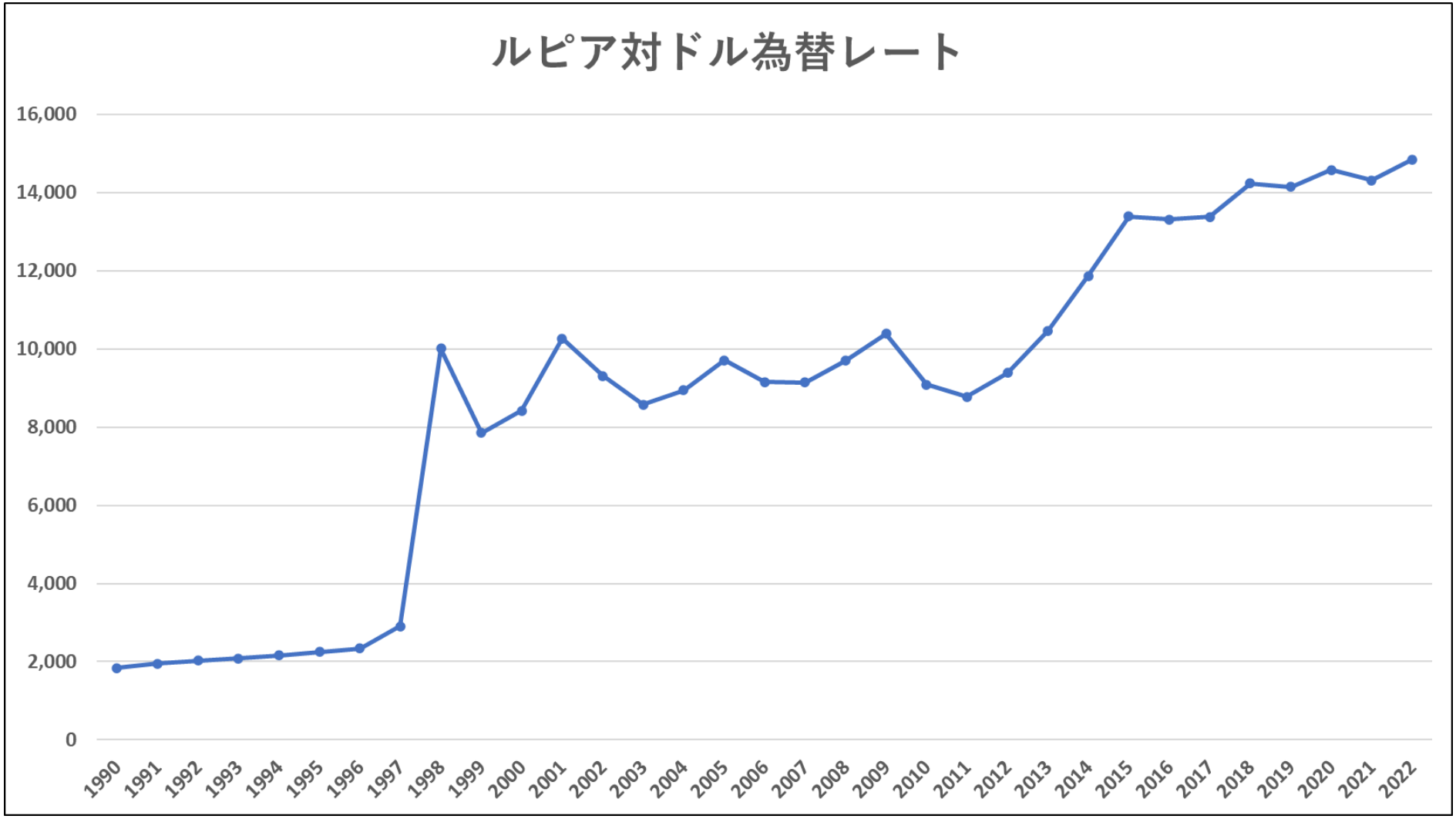
1. 1998年の超インフレは、アジア金融危機に端を発している。
2. 2016年以降、世界順位を上げているのは、世界的な経済低迷の裏返しと思われる。



出展：GLOBAL NOTE

5. 対ドル為替

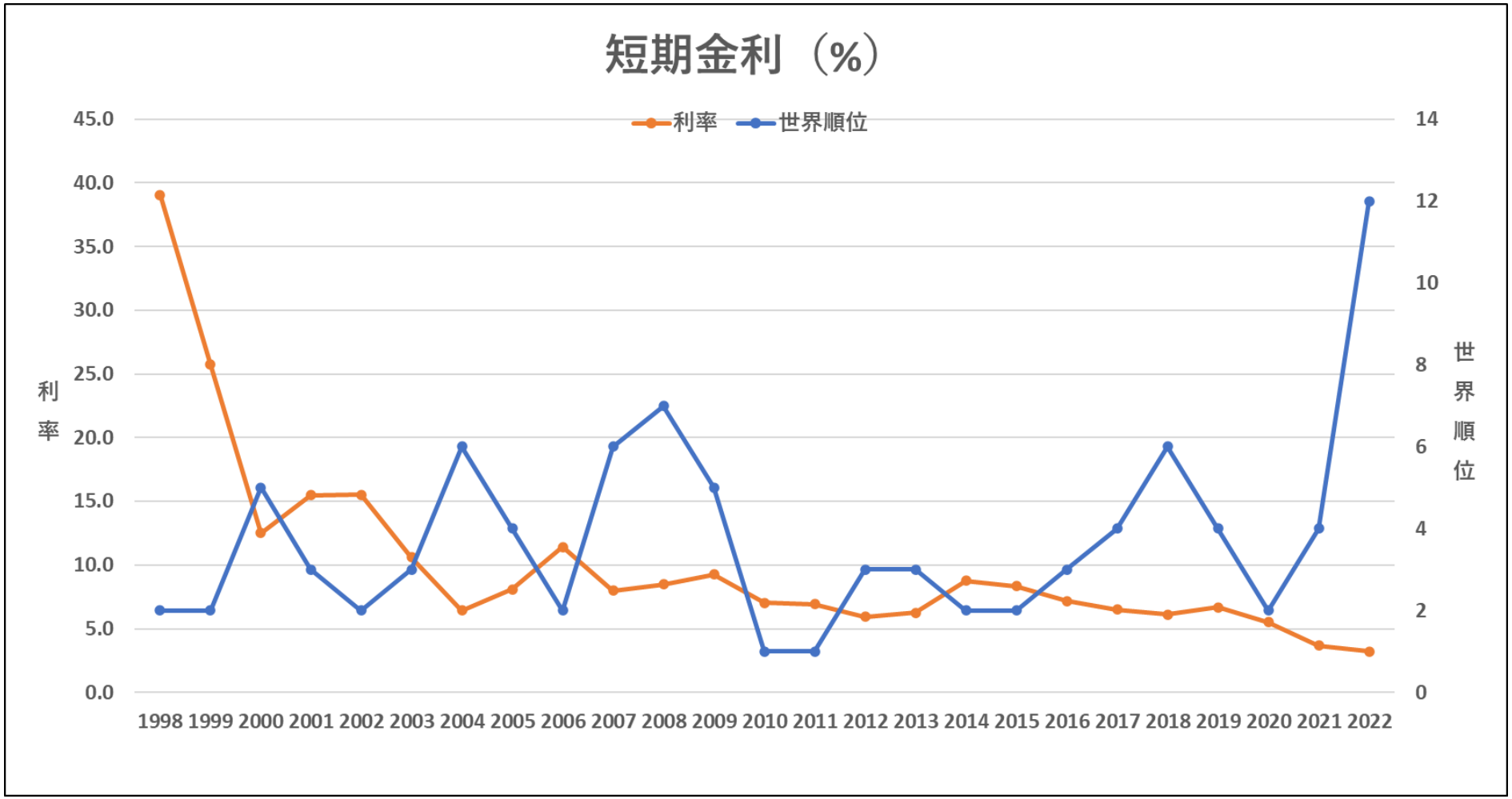
1. 1998年のアジア金融危機で、Rp.2,000台から一気にRp.10,000台に暴落した。
2. その後は少しずつルピア安の傾向が続いている。



出展：GLOBAL NOTE

6. 短期金利

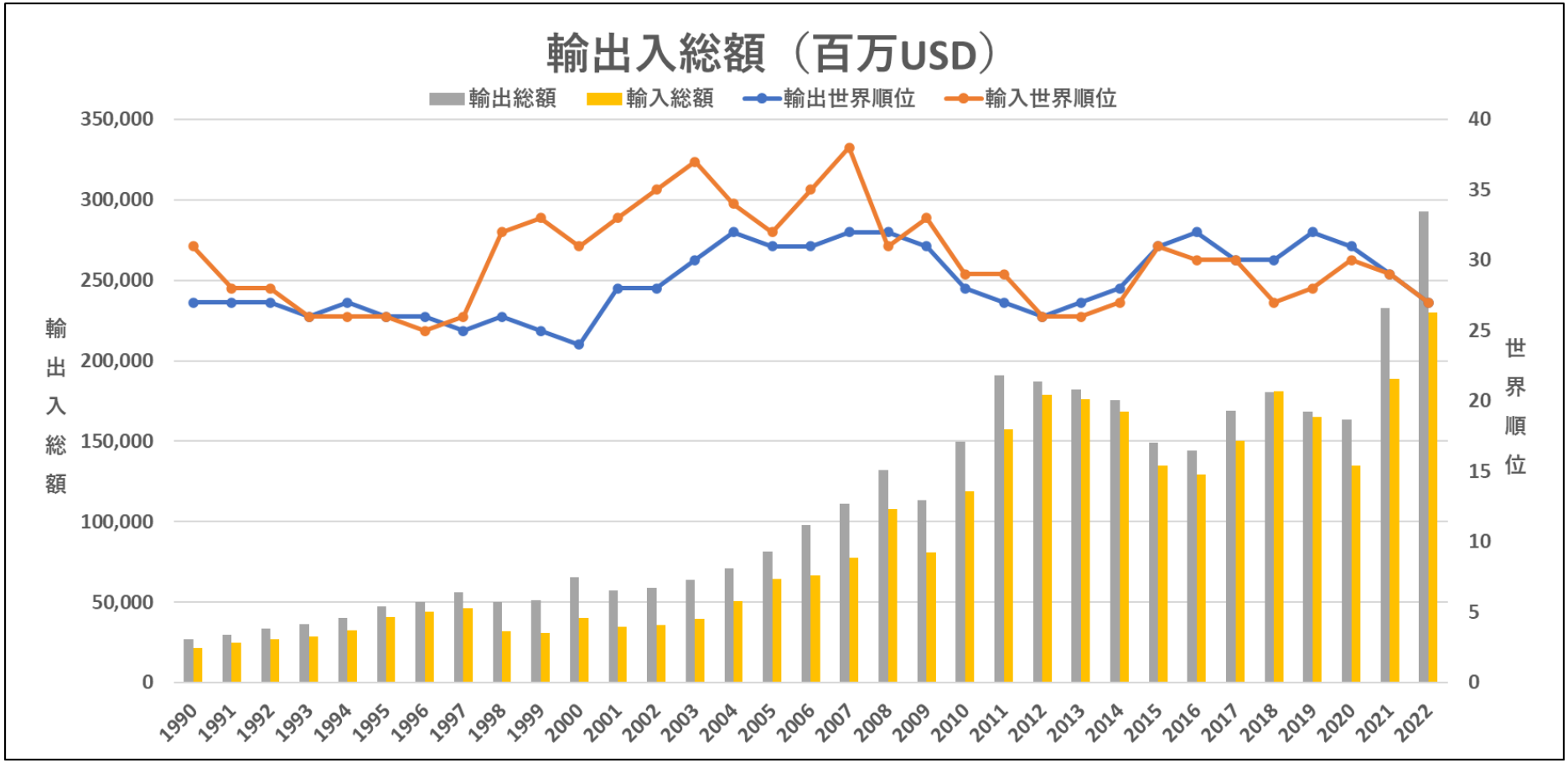
1. アジア金融危機以前は、二桁が普通であった。
2. 2022年に世界順位が跳ね上がったのは、世界的な低金利の裏返しと思われる。



出展：GLOBAL NOTE

7. 輸出入総額

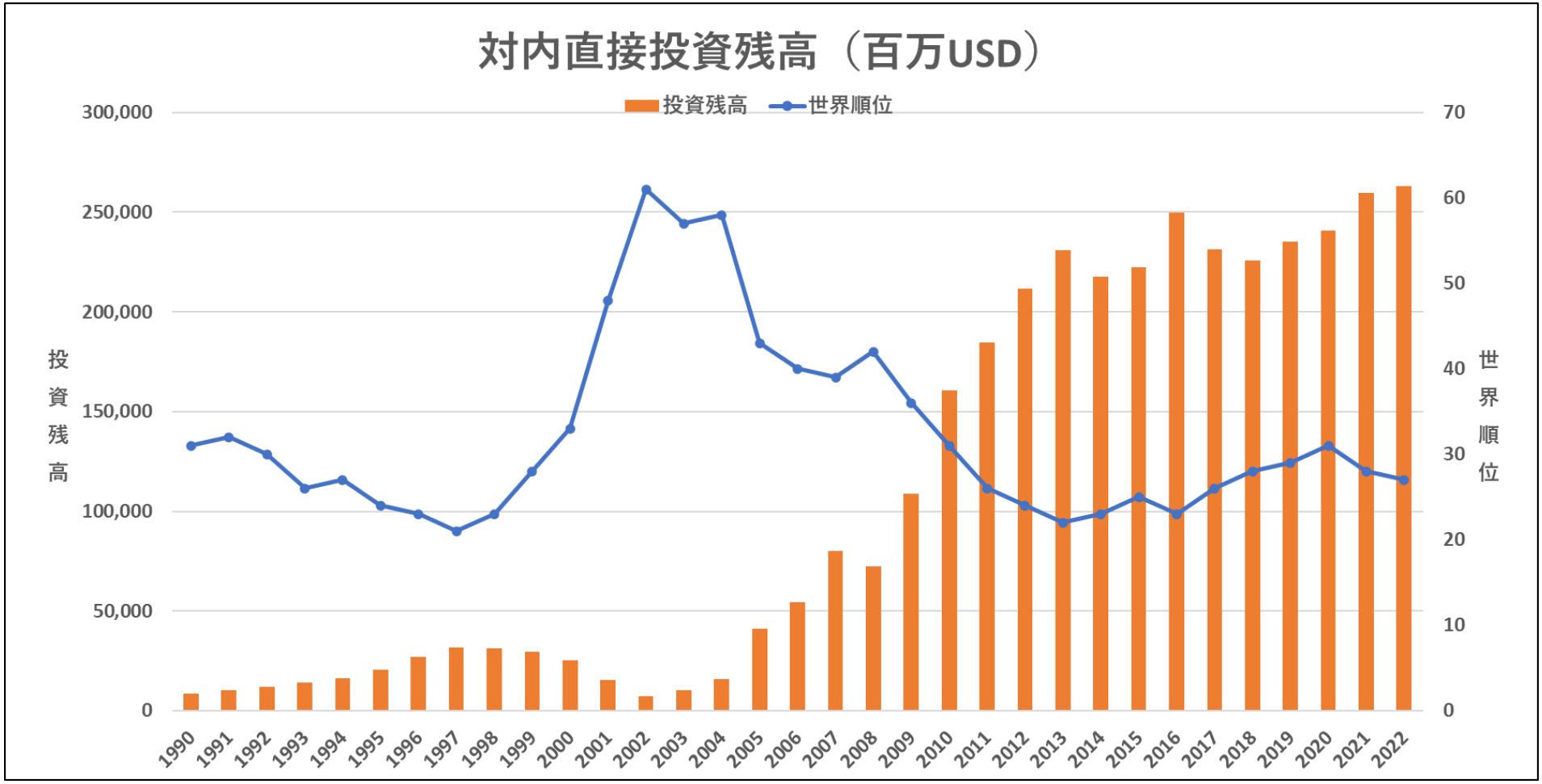
1. 30年間の長期スパンで見ると、輸出入共に増加を続けている。
2. 押し並べて、輸出総額が輸入総額を僅かに上回っている。
3. 世界順位は、輸出入総額共に、30位前後を維持している。



出展：GLOBAL NOTE

8. 対内直接投資残高

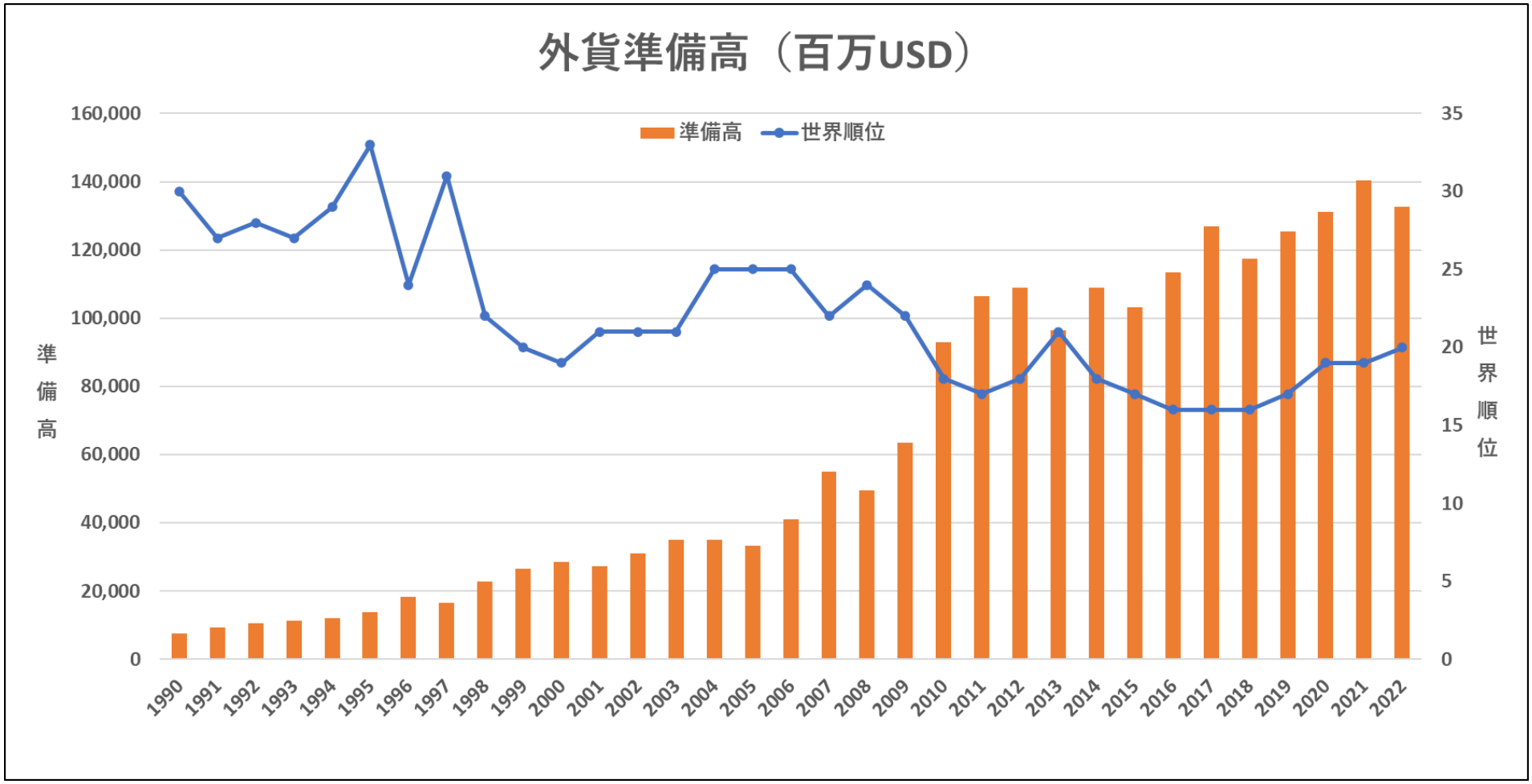
1. 1998年から2004年は、スハルト体制崩壊後の、政治の混乱期のために投資は減少した。
2. 2004年以降の、国民の直接選挙による五年二期の大統領制以降は順調に増えている。



出展：GLOBAL NOTE

9. 外貨準備高

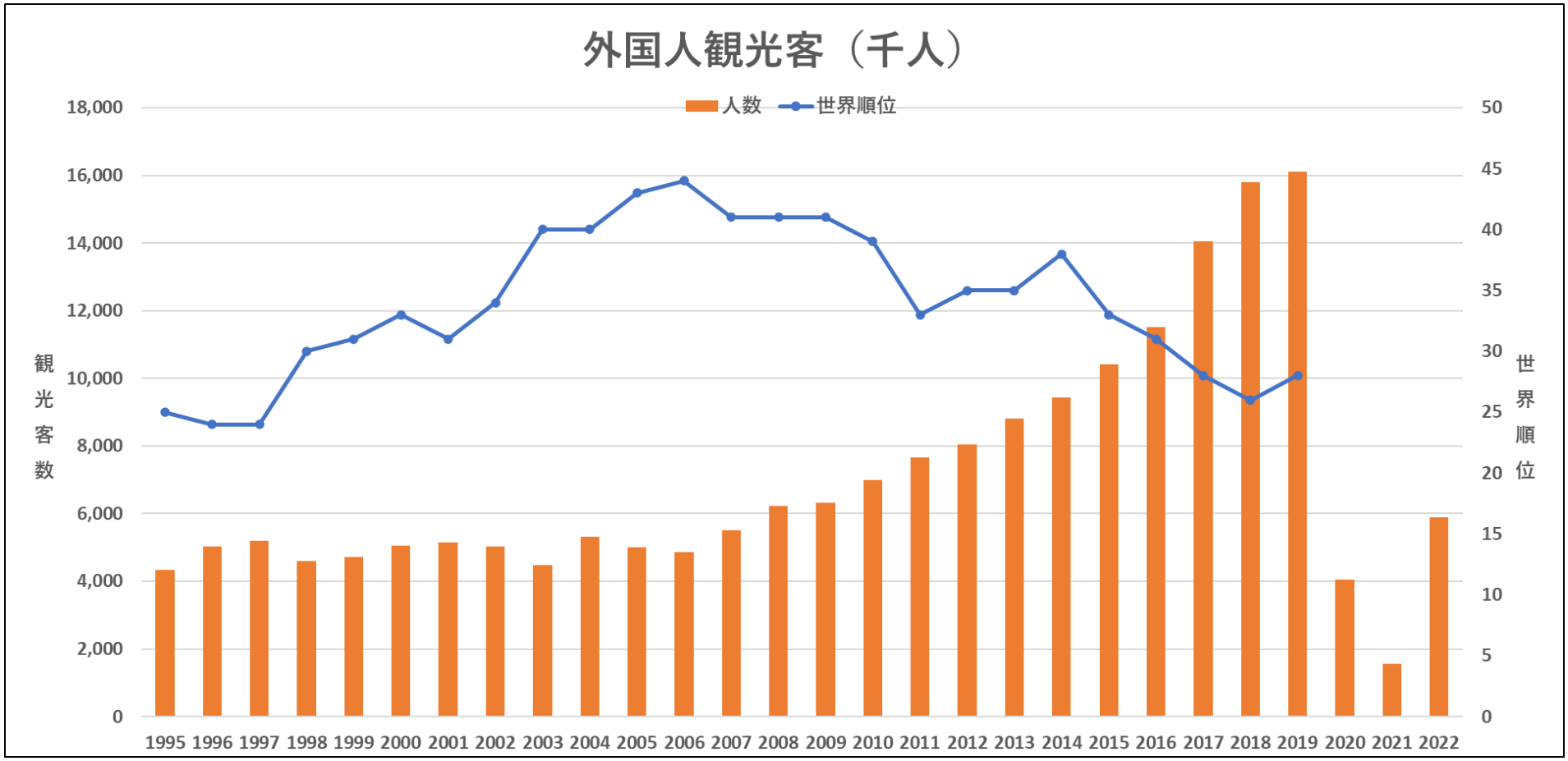
1. 石炭、LNG、椰子油、天然ゴムなどの輸出が外貨獲得に大きく貢献している。
2. インドネシア政府は、外貨獲得を一次産品輸出から二次産品輸出にシフトさせている。



出展：GLOBAL NOTE

10.外国人観光客

1. バリ島を始めとして、急増していたが、2020年から2022年はコロナ禍で激減した。
2. 2023年はコロナ前の数字に戻りつつある。



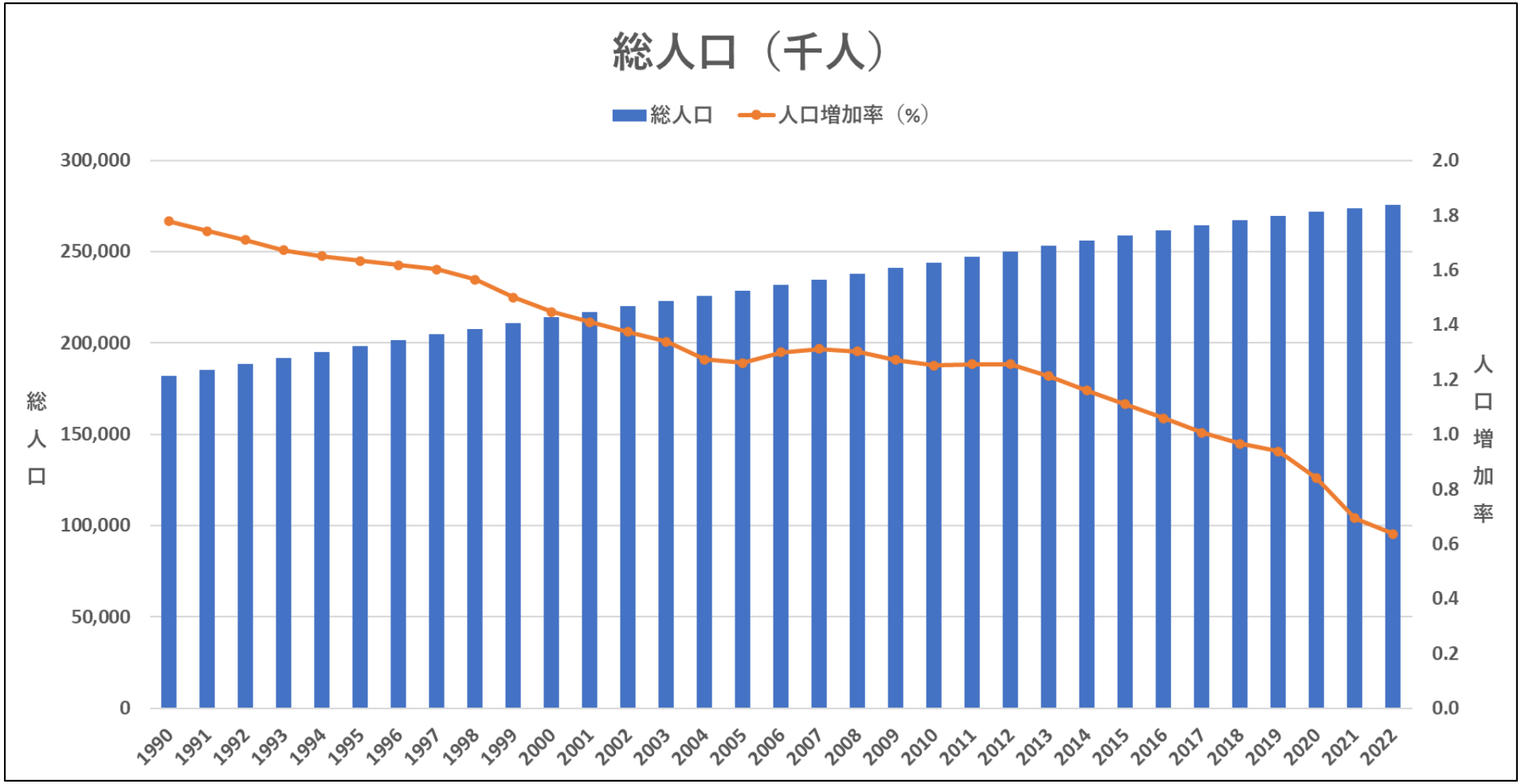
出展：GLOBAL NOTE/インドネシア統計センター

1. 総人口
2. 労働人口
3. 高齢者人口
4. 失業率
5. 最低賃金
6. 貧困率
7. 就学率
8. 犯罪件数
9. 大気汚染ランキング
10. 高速道路延伸距離

II. 社会

1. 総人口

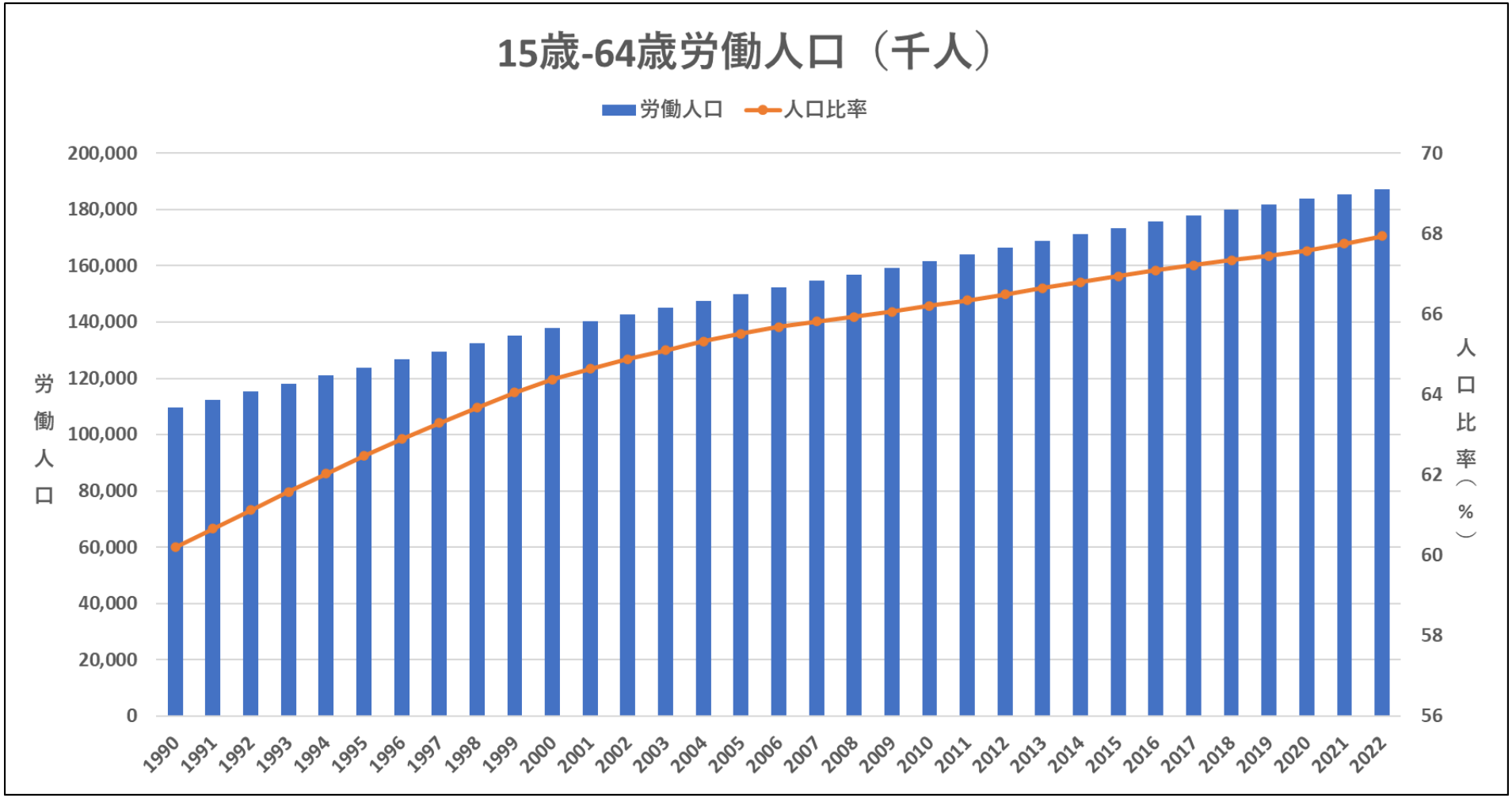
1. 人口は増え続けているが、現在の増加率では、2050年頃をピークに減少に転じる。
2. 2022年時点では中国、インド、アメリカに次いで、世界第四位である。



出展：GLOBAL NOTE

2. 労働人口

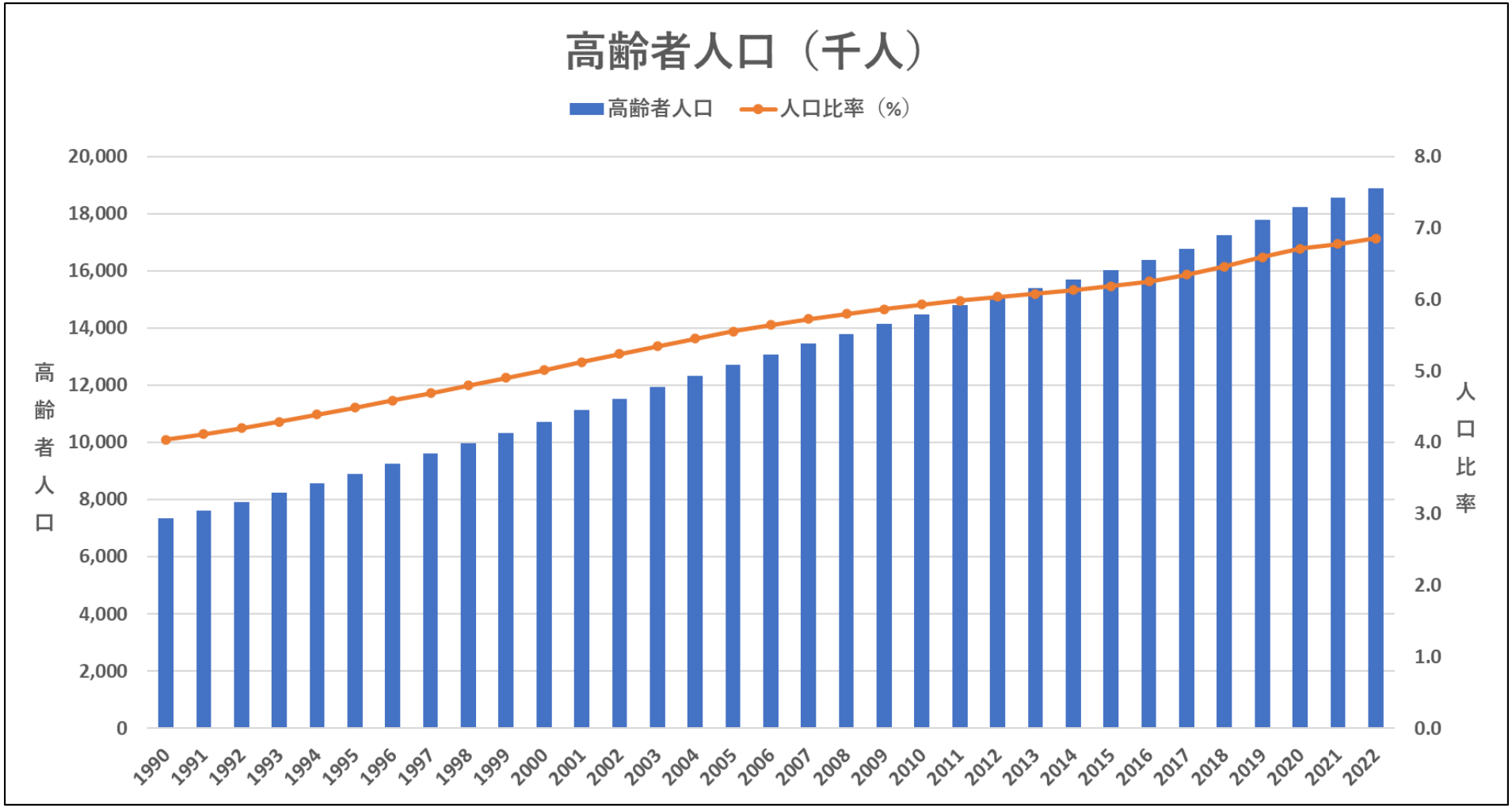
1. 2050年までは、労働人口が不足することは考えられない。



出展：GLOBAL NOTE

3. 高齢者人口

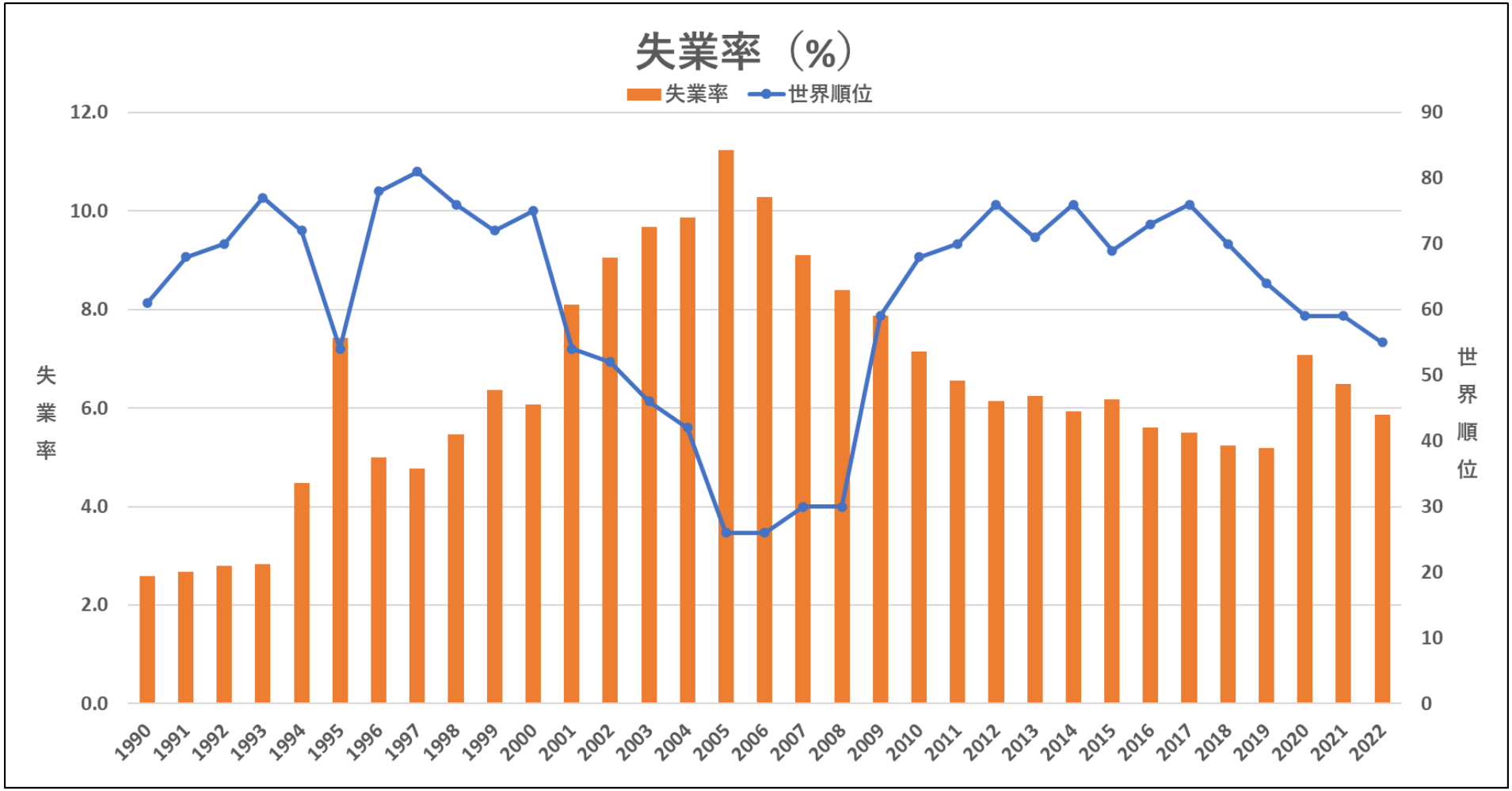
1. 高齢者は確実に増えており、今世紀後半には高齢化社会に入ると思われる。
2. しかし、2022年時点では世界第121位で、比較的若年社会である。



出展：GLOBAL NOTE

4. 失業率

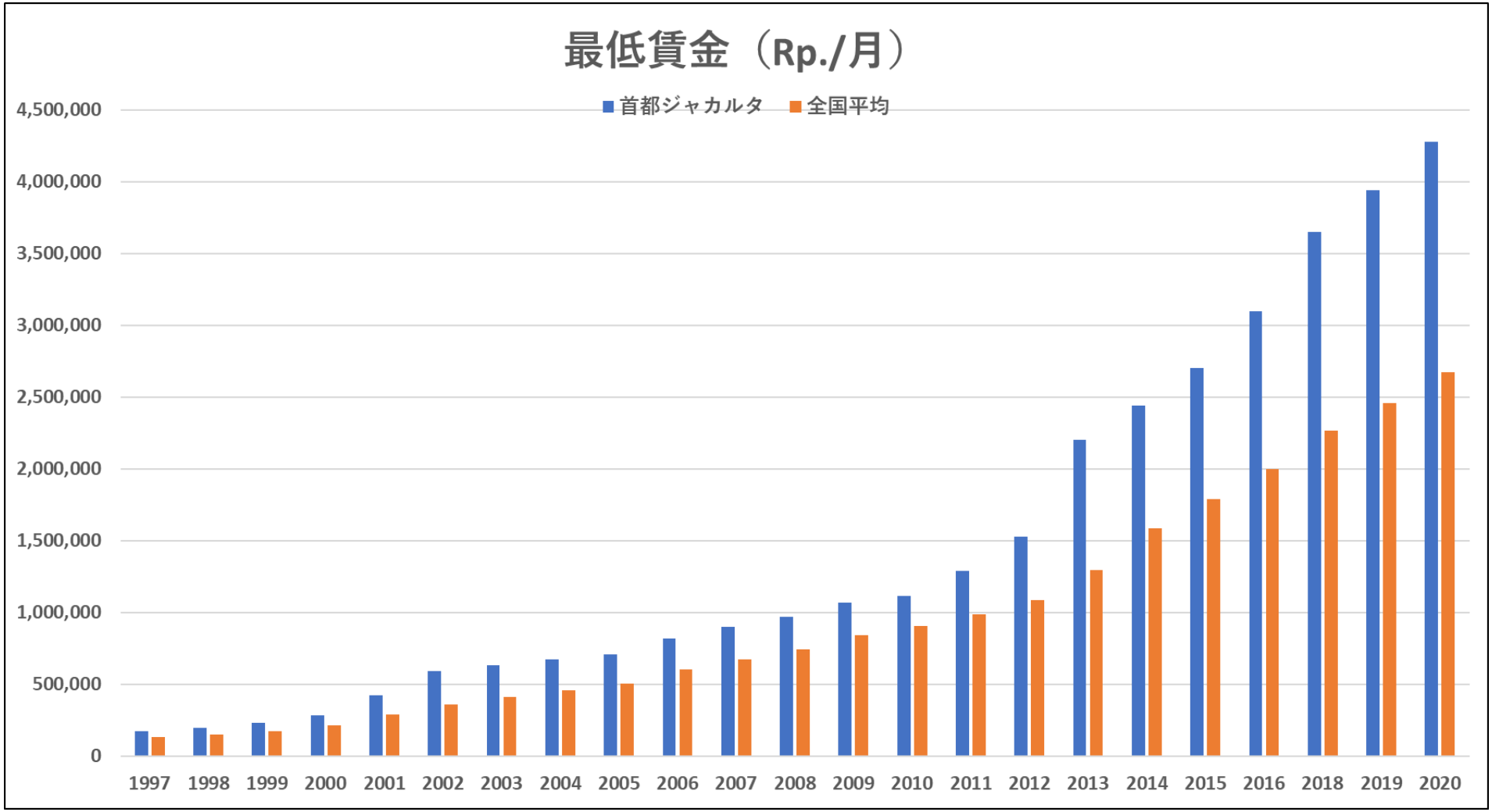
1. 2005年をピークに減少に転じているのは、民主政治体制に移行してからである。
2. 2020年のコロナ禍で悪化したが、その後は回復しつつある。
3. 定職を持たない人間も加えると、2倍から3倍になると推測される。



出展：GLOBAL NOTE

5. 最低賃金

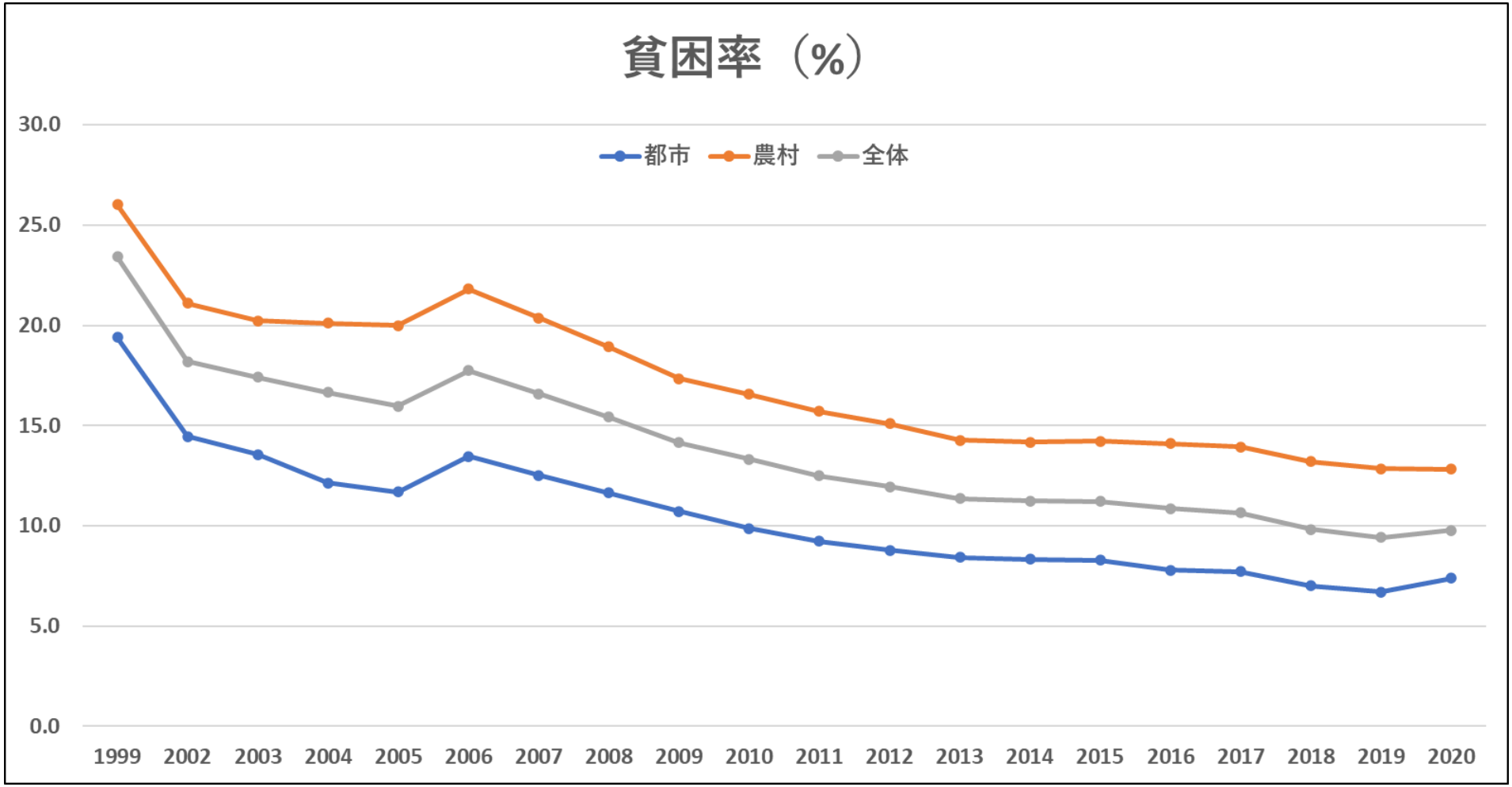
1. 米ドル換算では、全国平均で1997年がUSD68/月、2020年がUSD178/月と2.6倍である。
2. 2021年以降の賃上げ率は、州毎に前年度のインフレ率＋経済成長率に規定された。



出展：GLOBAL NOTE

6. 貧困率

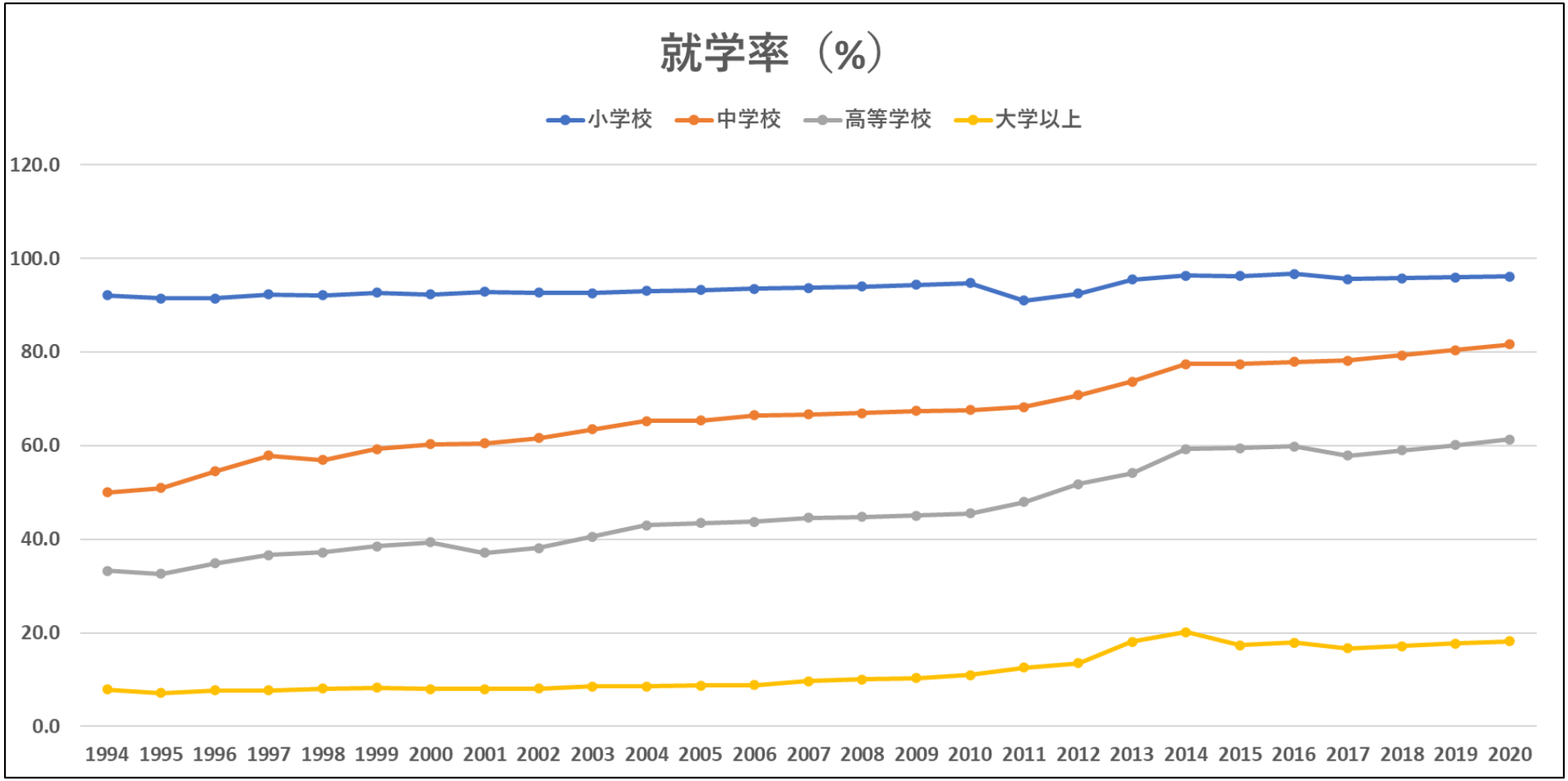
1. 2020年の貧困層の上限は、1ヵ月の支出額が州別にRp.350,264からRp.721,455である。
2. インドネシア全体では20年間で半分以下に減少した。



出展：インドネシア統計センター

7. 就学率

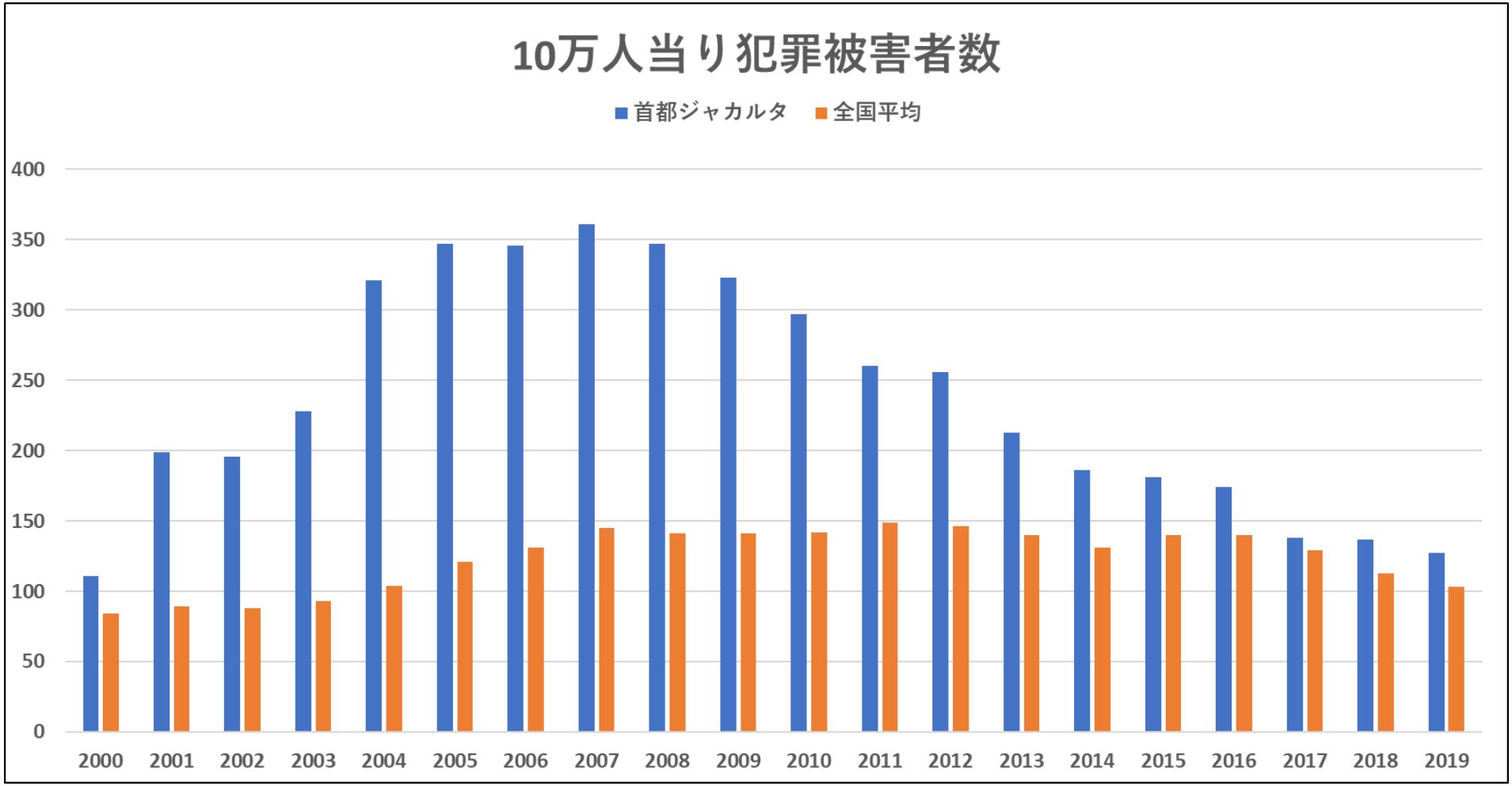
1. 義務教育の小学校と中学校、そして高校の就学率は着実に向上している。
2. 大学進学率はまだまだ低い。



出展：インドネシア統計センター

8. 犯罪件数

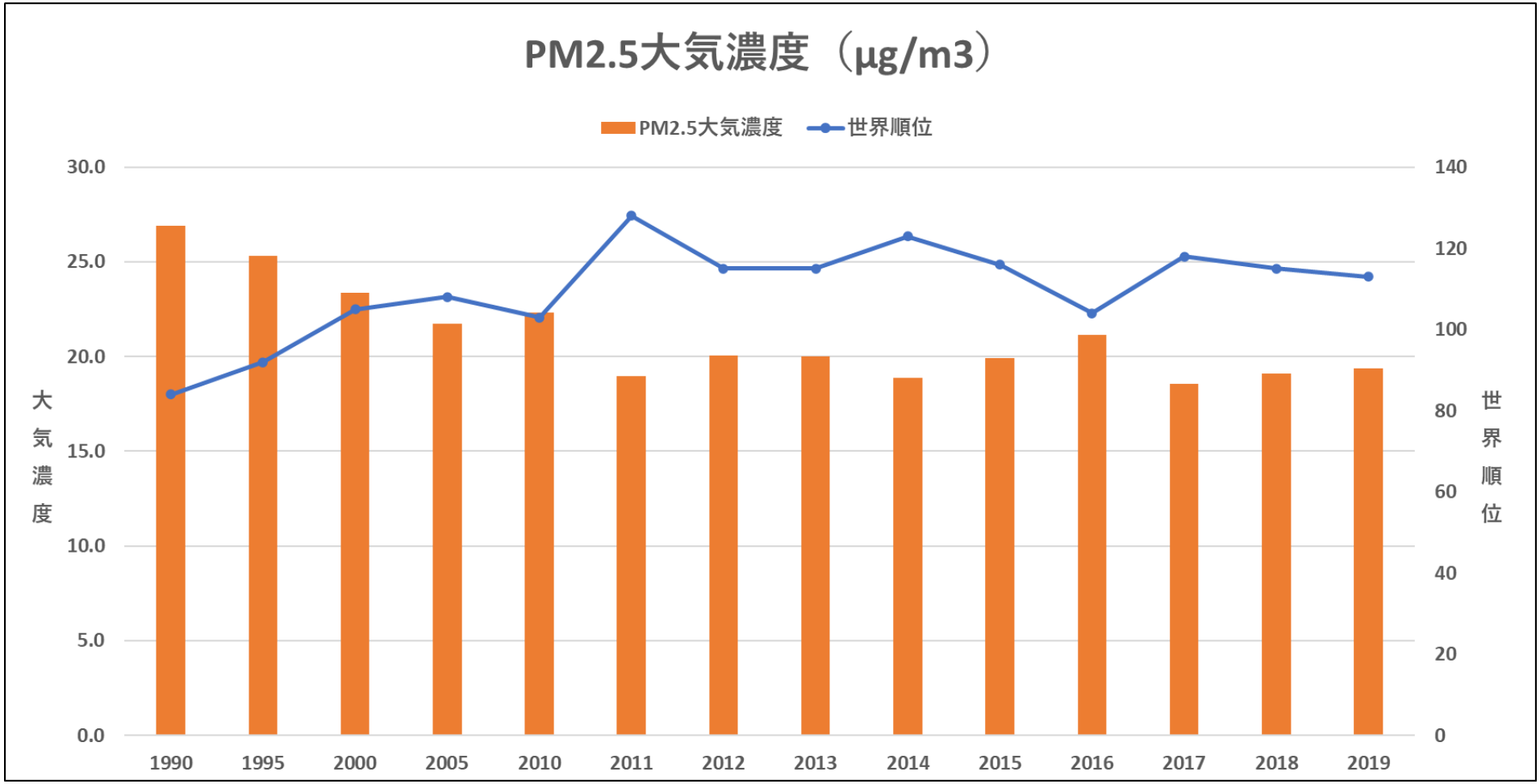
1. 首都ジャカルタの犯罪件数は、ユドヨノ政権二期目以降は減少が続いている。
2. 1999年に国軍から切り離されて、警察軍から国家警察に変わったことによる影響は不明。



出展：インドネシア統計センター

9. 大気汚染ランキング

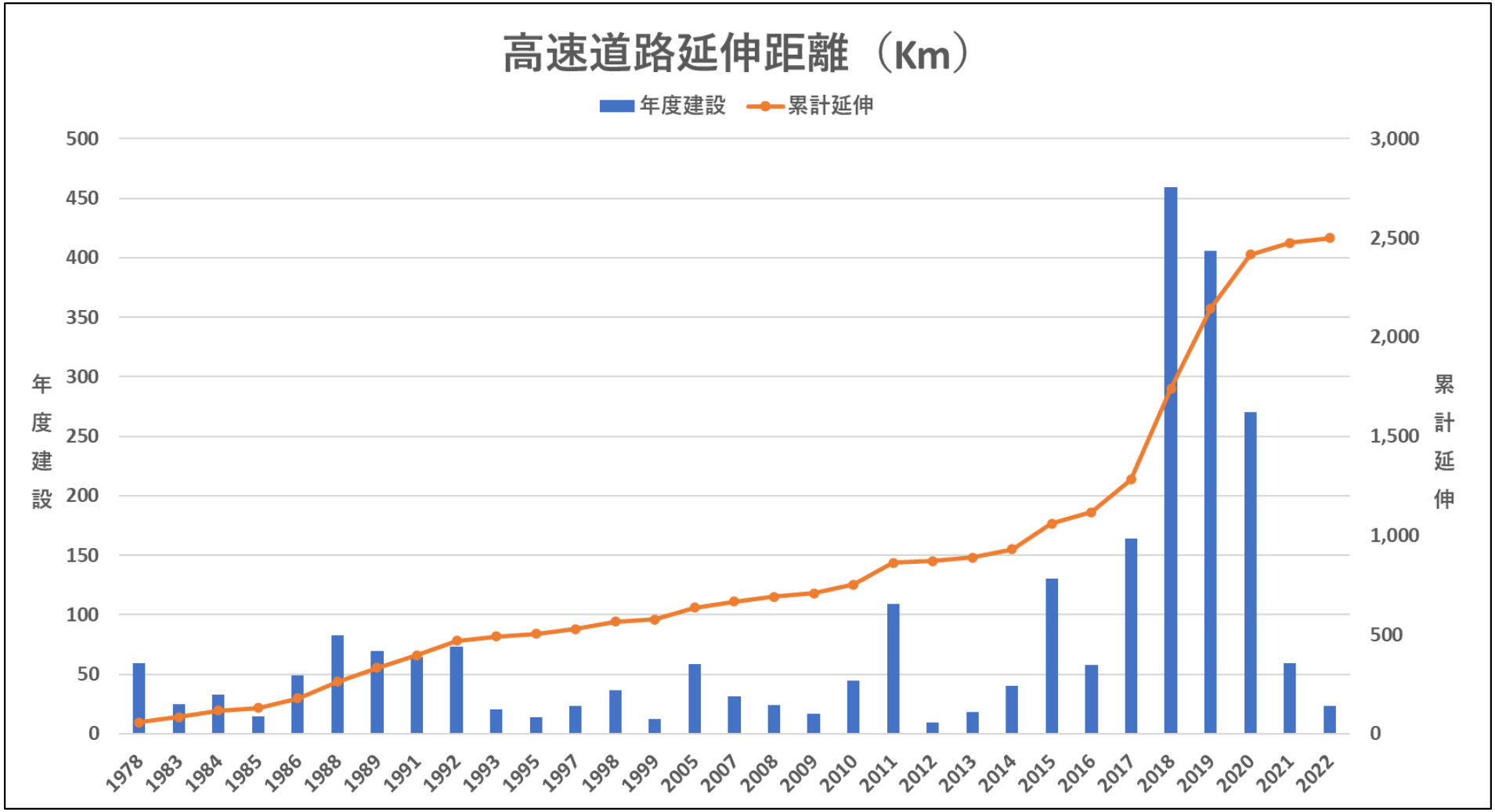
1. コロナ対策での通勤制限が解除された後の2023年7月、ジャカルタは世界最悪を記録した。
2. インドネシア政府は様々な対策を取っているが、抜本的な解決には程遠い。



出展：GLOBAL NOTE

10.高速道路延伸距離

1. ジョコウィ政権の2014年から2024年の間にジャワ島縦断高速道路が完成した。



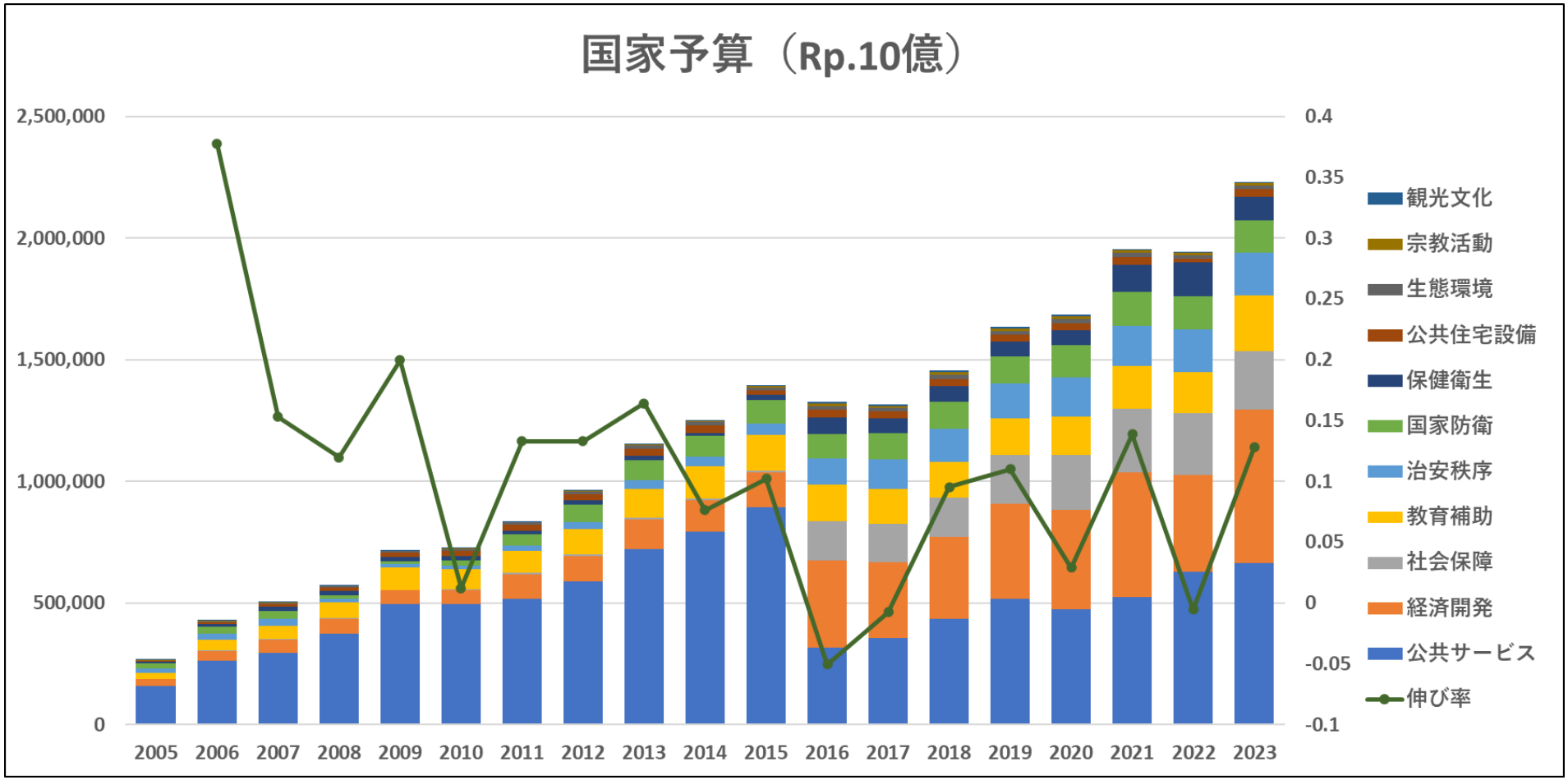
出展：インドネシア統計センター

1. 国家予算
2. 軍事力
3. 汚職ランキング
4. 政党別国会議員数
5. 徴税率
6. 政権交代
7. 政治体制
8. 国際機関
9. 国際行事
10. 日本援助事業

III. 政治

1. 国家予算

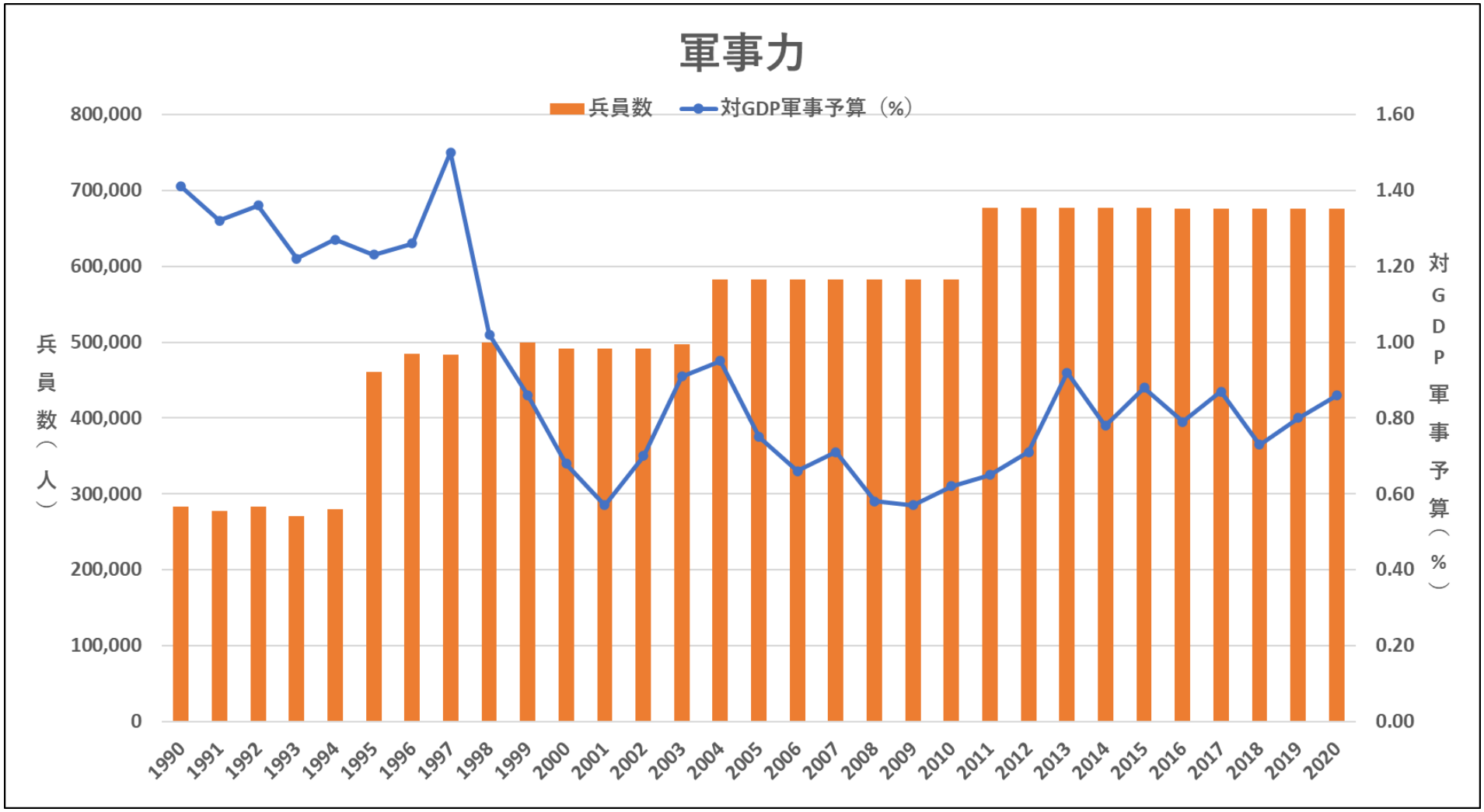
1. 平均10%前後の伸び率を維持している。
2. ジョコウィ政権が誕生した2年後の2016年以降は、公共サービスが縮小し、経済開発と社会保障が増大した。



出展：GLOBAL NOTE

2. 軍事力

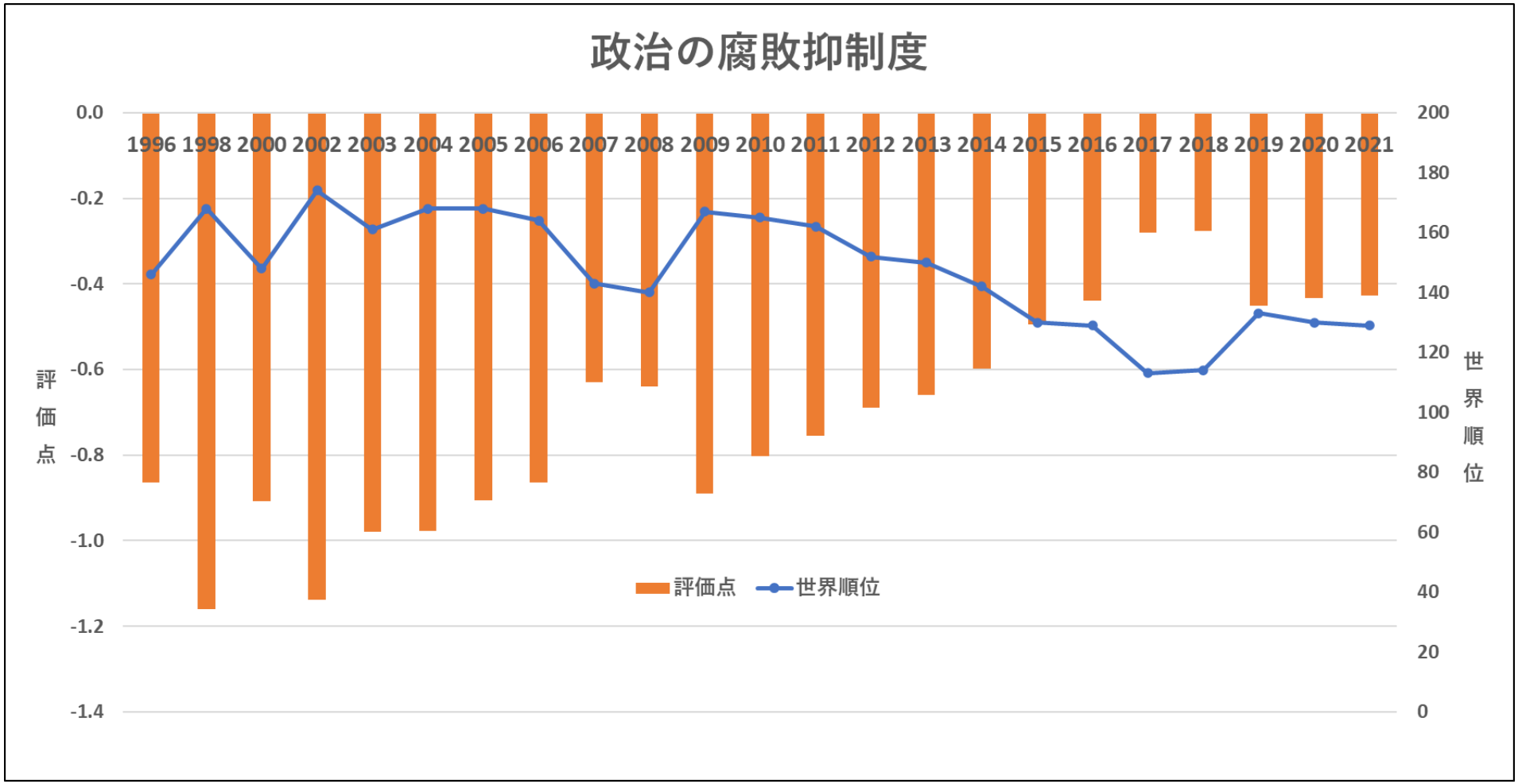
1. スハルト政権崩壊以降の対GDP軍事予算は、1.4%レベルから0.8%レベルに縮小している。
2. 兵員数は数年単位で増加のしている。



出展：Our World in Data

3. 汚職ランキング

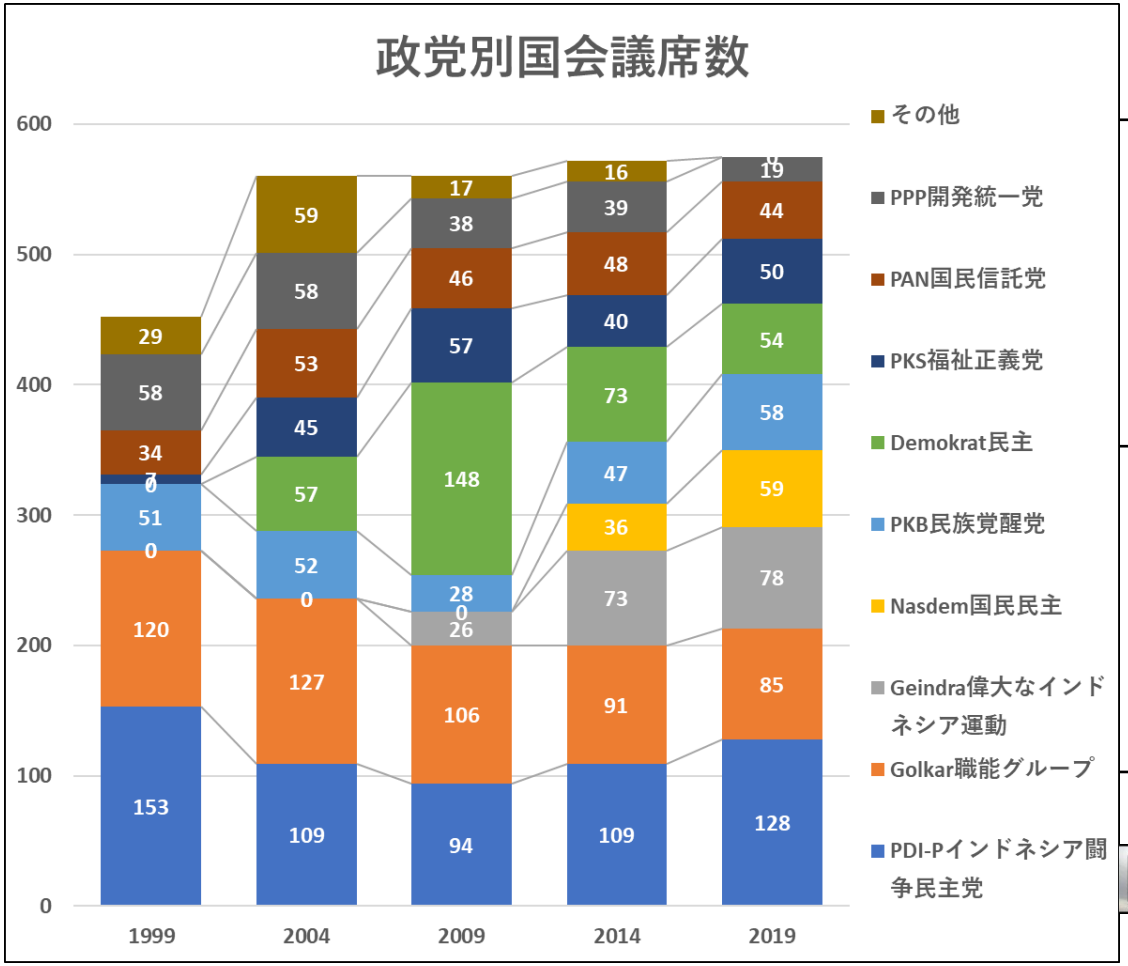
1. 評価点は-2.5から+2.5で点数が高いほど汚職は少ないが、インドネシアはマイナス点が常態となっている。
2. 世界順位は徐々に上げてはいるが、ジョコウィ政権二期目に入り、汚職が増加している。



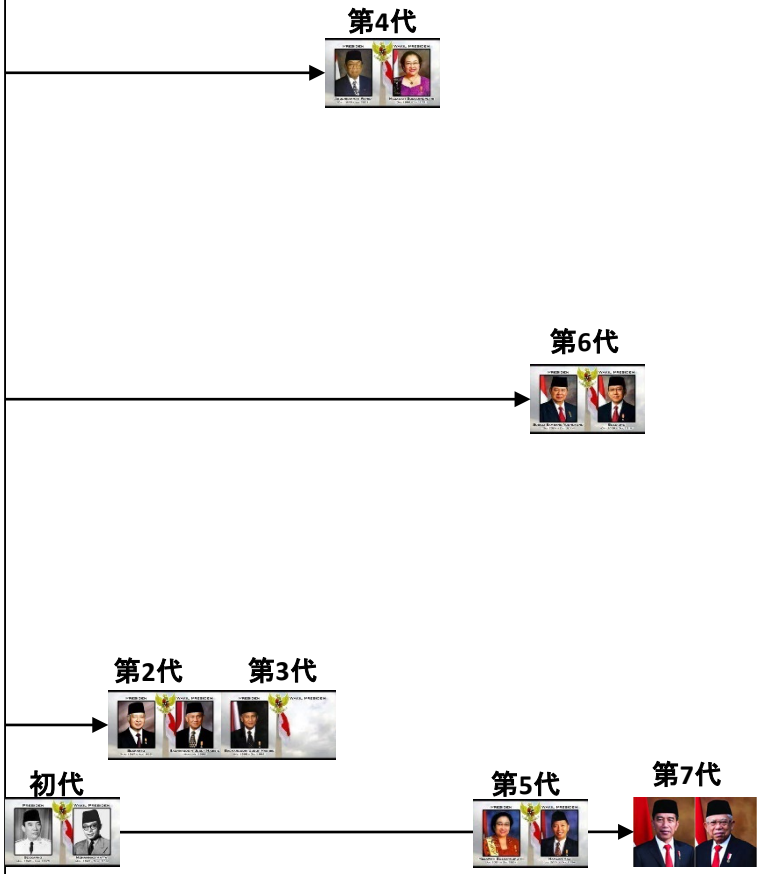
出展：GLOBAL NOTE

4. 政党別国会議員数

1. 2004年以降は大統領・副大統領選挙も同時に国民直接選挙となる。
2. 総選挙の度毎に少数政党は議席を失い、解散して来た。



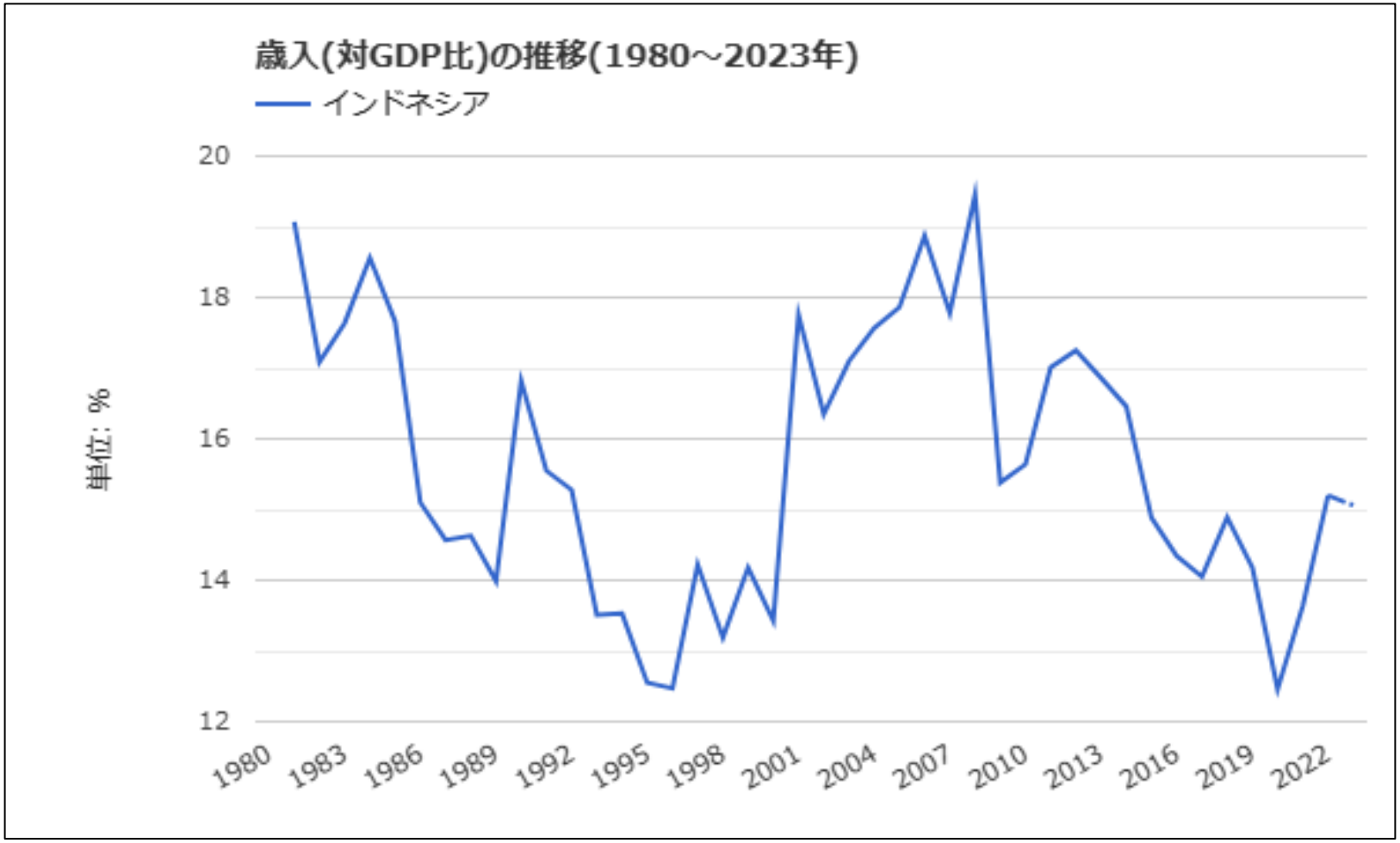
歴代大統領・副大統領



出展：Wekipedia

5. 徴税率

1. 一般政府(国・地方自治体・社会保障基金)による年間収入を表し、税収と税外収入を合計したもの。
2. 2022年は世界第167位と非常に低い。



出展:世界経済のネタ帳

6. 政権交代

1. 2004年以降は国民による直接選挙で、5年2期での政権交代が憲法で決められる。

年代	大統領		政権の特徴
1945 | 1968	Soekarno 23年間		• オランダからの独立を成し遂げた『独立の父』 • 経済政策の失敗による社会の貧困化 • 独立後は社会主義者となり、ソ連と中国への接近 • インドネシア共産党によるクーデター失敗を機に失脚
1968 | 1998	Soeharto 30年間		• インドネシア共産党のクーデター制圧の3年後に大統領就任 • 共産主義者の弾圧、華人抑圧、中国との国交断絶 • 親米政権として、西側社会の仲間入り • 長期軍事独裁政権の下に経済開発を進めた『開発の父』
1998 | 2004	Bacharuddin Jusuf Habibie Abdurrahman Wahid Megawati Soekarno Putri 6年間		• スハルト政権崩壊後の混迷の短期政権 • メガワティ氏はスカルノ大統領の長女 • 中国との国交回復、華人差別廃止 • 政治体制の再構築
2004 | 2014	Susilo Bambang Yudhoyono 10年間		• 国民の直接選挙による最初の大統領 • 民主化と経済成長を推進 • 労働組合活動の自由化 • 自他共に認める民主国家の実現
2014 | 2024	Joko Widodo 10年間		• 最初の庶民出身大統領 • ソロ市長からジャカルタ州知事、そして大統領へと一気に出世 • 歴代の大統領による三度目の首都移転に取り組む • 親中政策の積極的に推進

出展：Wikipedia

7. 政治体制

1. インドネシアは四回の憲法改正を通じて、スハルト独裁体制から現在の民主政治体制に移行した。

	～1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
	1945年憲法	第一次憲法改正	第二次憲法改正	第三次憲法改正	第四次憲法改正
主旨	主権は国民協議会が支持する大統領	大統領の任期と権限の制限	人事規定の充実	国民主権	憲法改正総仕上
大統領	任期無期 権力集中	任期5年2期 権限抑制	国民議会に対する制限強化	大統領正当性確保 大統領直接選挙	
議会	国民協議会 国民議会		国民議会議員民選	地方代表議会設置	国民協議会再編
行政					中央銀行の独立
地方自治			州・県・市の地方自治体政府と議会		
司法					憲法裁判所設置
国軍			警察軍を国家警察として分離		

出展：総務省大臣官房企画課インドネシアの行政

8. 国際機関

加入年度	1954	1967	1989	1999	2022	2023	検討中
国際機関名称	Non-Blok	ASEAN	APEC	G20	IPEF	RCEP	TPP
インドネシア	●	●	●	●	●	●	△
インド	●			●	●		
エジプト	●						
サウジアラビア	●						
カンボジア	●	●				●	
キューバ	●						
ミャンマー	●	●				●	
シンガポール	●	●	●		●	●	●
マレーシア	●	●	●		●	●	●
ベトナム	●	●	●		●	●	●
ブルネイ	●	●	●		●	●	●
タイ	●	●	●		●	●	
北朝鮮	●						
フィリピン		●	●		●	●	
ラオス		●				●	
オーストラリア			●	●	●	●	●
カナダ			●	●			●
アメリカ合衆国			●	●	●		
大韓民国			●	●	●	●	
台湾			●				
中華人民共和国			●	●		●	
メキシコ			●	●			●
パプアニューギニア			●				
チリ			●				●
ペルー			●				●
ロシア			●	●			
日本			●	●	●	●	●
ニュージーランド			●		●	●	●
EU				●			
フランス				●			
イギリス				●			
ドイツ				●			
イタリア				●			
ブラジル				●			
トルコ				●			
アルゼンチン				●			
南アフリカ				●			

9. 国際行事

1. 2014年のジョコウィ大統領以降、インドネシアは国際舞台での注目が急激に高まって来た。

1955年Asia-Afica
Bandung会議

2013年
APEC首脳会議

2018年
APEC首脳会議

2022年
G20首脳会議

10.日本援助事業

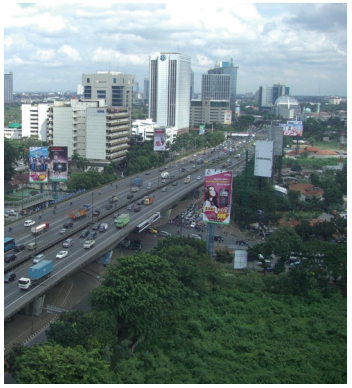
1. 日本は戦後一貫して、開発援助を通じてインドネシアの発展に貢献して来た。
2. しかし、日本の失われた30年間で、高速鉄道、首都移転、EV世界拠点などの中国支援に見られるように、援助の主体は日本から中国に代わりつつある。

ジャカルタ首都高速網建設

ジャカルタ圏鉄道網整備

ジャカルタ漁港改修工事

ボロブドゥール遺跡改修工事



クニンガン地区高架工事

ジャカルタMRT工事

出展:JICA、他

最新のインドネシア情報はこちらから

インドネシア進出サポート公式サイト

インドネシア進出準備から撤退までの要点を簡潔にまとめたサイト（Googleトップランキング）

https://www.hmkt.jp/

インドネシア最新情報ブログ

あらゆる分野での情報を毎日、どんなメディアよりも早く紹介

http://blog.livedoor.jp/kojindonesia/

インドネシア進出サポートウエブセミナー

公式サイトに掲載されたセミナースライドサンプルの中から、ダウンロード件数の多いもの順に音声解説付きのスライドをアップロードしています

https://www.youtube.com/channel/UCXghuRz7zRX5jLOXu75rQjQ

ご清聴ありがとうございました
ここからは質疑応答です